



夏季休暇中も防疫対策を徹底しましょう！



一昨年以来、新型コロナウイルス(COVID-19)の人への感染が世界的に継続しており、我が国を含め各国・地域で海外渡航の自粛等、感染拡大を防止する措置が取られ、人・モノの移動減少している状況ではありますが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、多くの選手・関係者が来日することも踏まえ、引き続き防疫対策を徹底しましょう！！

1 海外への渡航は自粛しましょう！

口蹄疫、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ等の発生地域への渡航自粛

2 消毒及び衛生管理区域への病原体持ち込み防止の再徹底！

- ・農場への部外者立入禁止
- ・人、車両の消毒の徹底
- ・畜舎専用の手袋、長靴の設置
- ・野生動物の侵入対策(防鳥ネット設置・修繕)

3 毎日の健康観察、早期発見及び早期通報の徹底！

- ・特定症状を呈している家畜を発見した際の速やかな届出
- ・飼養家畜の毎日の健康観察

鳥インフルエンザ特有の疑わしい症状は直ちに通報を！

鳥インフルエンザは沈うつや肉冠、肉垂の壊死、チアノーゼ等の症状が特徴ですが、臨床症状を示さない例もあります。

死亡率の急激な上昇を確認次第、家畜保健衛生所に連絡しましょう。

